

令和4年度(3年度実績) 総合評価書 <施設名 図書館笠原分館>

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)維持管理に関すること。 (2)運営業務に関すること。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況(40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては利用冊数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(129%)=利用率(86,156冊)÷66,652冊(上記①適用)	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) R3:86,156冊 前指定管理期間の平均:66,652冊(R2:77,452冊、R1:80,621冊、H30:64,454冊、H29:54,934冊、H28:55,799冊) 【参考】開館日数:R3:262日、前指定管理期間の平均日数:290日(R2:258日、R1:301日、H30:299日、H29:296日、H28:296日)	105%以上:5点	5点
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(図書館においては貸出人数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(113%)=利用人数(延べ16,608人)÷14,679人(上記①適用)	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) R3:16,608人 前指定管理期間の平均:14,679人(R2:14,611人、R1:17,135人、H30:14,624人、H29:13,362人、H28:13,665人)	105%以上:5点	5点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点 仕様書に忠実:11~9点 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点 それ以下:2~0点	年次報告書P351~355 ①読書普及活動 (1)一般常設展示(17回)、常設絵本展示(4回)、一般展示(13回)、一般・児童展示(2回)、児童展示(1回)、絵本展示(10回) ②読書団体等支援 (1)ボランティア連携事業/笠原地域子育て支援センター おはなしの会(5回62人) ③タイトル資料コーナーをリニューアル。関連本を集約し、タイトルの魅力を発信。	仕様書以上 13点	①展示事業では、コロナ禍だからこそ薦めたい本をテーマごとに企画し、47回実施している。利用者ニーズに応えながら、常に企画を入れ替え来館に繋げようと努めている。 ②笠原地域子育て支援センターでのおはなしの会は、読み聞かせボランティアとの連携を図り、親子に寄り添った事業に取り組まれている。その後の館の利用にもつながっており、有意義な事業。 ③モザイクタイトルミュージアムの来館者などにも応えようと、タイトル資料コーナーの一新にも取り組まれた。	13点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15~12点 例年通り:11~9点 例年よりやや劣る:8~7点 例年より劣る:6~3点 例年よりかなり劣る 2~0点	年次報告書 P356~361 ①読書普及活動 展示(35回) (1)笠原保育園(年長組)/わくわく図書館体験(5回134人) (2)笠原小2年/町探検・図書館見学(60人) (3)笠原小学校との図書館交流/除籍本お届け ②出張講座 (1)笠原中2年/職業講話(12人) (2)笠原中央公民館/悠々塾読み聞かせ(18人) (3)夏休み子ども図書館キャンプ「水族館を作ろう!」(10人) ③その他 (1)本のリサイクル会(98人)、(2)雑誌リサイクル会(48人)、(3)季節のお楽しみプレゼント(ハロウィン45人、クリスマス187人)、(4)障がい者施設への絵本配達サービス(5回75人)	期待以上 13点	①公民館の講座で図書館職員が読み聞かせを行うなど、事業の連携から図書館利用の促進に努めている。 ②同様に校区の小中学校との交流から、児童生徒の読書推進、館の利用推進に取り組まれている。 ③障がい者施設への絵本の配達サービスは、コロナ禍での新しいサービスであるが、将来的に再び来館が実現するよう、今後の取組みに期待。 ④館内での業務に留まらず、出張講座が積極的に行われた。分館を知っていただく良い機会としている。	13点			
(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P340(笠原中央公民館と共通) ①笠原分館として定期的、日常的な清掃を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点		
	②保守・点検			年次報告書P341(笠原中央公民館と共通) ①笠原分館として設備に不具合があれば速やかに中央公民館へ報告する。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	③保安・警備			年次報告書P342(笠原中央公民館と共通) ①笠原分館として来館者に常に気を配り、不審者への注意を払うよう心掛けている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	④小規模修繕			年次報告書P342(笠原中央公民館が一括で対応) ①有償修繕は笠原分館分として、2件 総額370,150円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
	⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P362 ①消毒巡回(開館前、日中の2回) ②本を整理する際に本棚、机、椅子の不具合を点検 ③市公共施設点検マニュアルによる日々の点検に加え、毎月第4金曜日はチェックシートによる点検を実施 ④館内に死角がないよう防犯ミラーを設置	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点  ②5項目の合計点とする。	年次報告書P362 ①市ファイリングシステムに準じて、文書をキャビネットで保管。 ②年度末のファイリングの入替は全職員で行い、職員の意識向上と情報共有を図っている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P362 ①空気清浄機、扇風機、サーキュレーターを有効的に利用。良好な館内環境を維持。 ②不要となった本はリサイクルフェアで配付。利用者への還元に努めている。 ③劣化した本は古紙回収で再利用に取り組んでいる。 ④環境への意識付けとして、小学生向けにリサイクル資源を材料にした工作講座を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P362 ①開館中の入口扉は常時開放し、車椅子やベビーカーの出入りに配慮。 ②文字が見えづらい方に大活字本を案内し、返却期日票を渡している。 ③聴覚障がい者に筆談を案内。筆談対応できるよう文字盤を用意。 ④障がい者施設に定期的な団体貸出を実施。障がい者への読書推進活動に注力。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P362 ①日常点検の徹底で、不具合の早期発見と利用者の安心安全を心がけている。 ②コロナ禍で整備した図書滅菌機の使用を促し、有効活用を図っている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P362 ①個人情報が記載された書類は、使用后速やかにシュレッダーによる処理。 ②電話番号やメールアドレスを聞く際は、口頭ではなく筆談にて対応。 ③ブログなどに写真を掲載する場合は、掲載可能かどうか本人に確認。 ④個人情報が記載された書類を扱う際は、作業机に衝立を立てるなどの対策。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点 ※100%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	収入118,872,986円÷支出122,391,863円=97%(笠原中央公民館、笠原体育館含む)	100%未満 3点	新型コロナウイルスの影響を考慮し、4点とする。 【参考】 ①指定管理料 13,707千円 ②施設独自の収支(人件費、本部経費等を除く) (1)収入/雑収入3千円 (2)支出/管理運営費3,524千円、文化振興事業費27千円	4点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点 適正(普通):7~5点 不備あり:4~1点	年次報告書P364 ①コロナ禍で外出ができなくなった障がい者施設に団体貸出カードを案内。利用者のリクエストを参考に選んだ絵本の配達サービスを開始。 ②コロナ禍で職場体験学習を自粛した中学校の要望を受け、学校の「職業講話」で図書館の業務などを講話。 ③コロナを心配する利用者への対応として、除菌機の設置、換気の徹底、返却本や共用備品の消毒の徹底。 ④保育園の体験学習を図書館作業日とし、他の利用者との接触を避けて受入。	期待以上 9点	①職員数も限られる分館の規模で館外の取組みが多いのは、幼・保・小・中学校や様々な団体が身近で、声を聴きやすい環境であること。それに応えようとする姿勢は、本への親しみ、読書の楽しさを伝えたい一心であることがうかがえる。 ②コロナ禍の来館への不安を払拭するための、環境衛生への取組みに努めている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし	5点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。				0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。				0点
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ①笠原分館は笠原小校区はもちろん、地域性、利便性から滝呂の利用者も多く、ニーズも多様である。利用者に足を運ぶことが楽しいと思わせる展示や選書に努められている。 ②コロナで外出自粛を余儀なくされた方々への読書の機会の提供を常に考え、行動されている。 ③年間貸出冊数は過去最高であり、コロナ禍の巣ごもり需要だけでなく、利用者への職員の寄り添いの結果とうかがえる。	合計88点  極めて良好